

「超老芸術」をはじめとした市井の高齢者による芸術表現の魅力を紹介しながら、超高齢化社会における文化芸術の可能性について語り合います。豊かな人生を送るためのヒントが詰まっています。

## フォーラム

令和5年 **10月8日(日)**  
**13時30分～15時**  
 会場: グランシップ2階 映像ホール  
 料金: 無料 定員: 先着80名

# 超老芸術は『文化』だ!

- 超高齢社会における文化芸術の可能性 -

**福住 廉**  
 美術評論家  
 1975年生まれ。著書に『今日の境界芸術』(BankART 1929, 2008年)ほか、「共同通信」で毎月展評を連載しているほか、展覧会の企画も手がける。現在、秋田公立美術大学大学院准教授、東京藝術大学大学院絵画研究科油画専攻テクニカル・インストラクター。

**進行**  
**柳野 展正**  
 アーツカウンシルしずおかチーフプログラム・ディレクター

photo by 坂田 真

**上田 假奈代(うえだ・かなよ)**  
 詩人、詩業家、堺アーツカウンシルプログラム・ディレクター  
 1969年吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。2001年「ことばを人生の味方に、詩業家宣言」。2003年、大阪・新世界で喫茶店のふりをしたアートNPO「ココルーム」を立ち上げ、釜ヶ崎に移転し、2012年「釜ヶ崎芸術大学」開講。2016年ゲストハウスのふりもはじめ、釜ヶ崎のおじさんたちの井戸掘りなど、あの手この手で地域との協働をはかる。

photo by Ballena Studio

**エドワード・M・ゴメズ**  
 美術評論家、キュレーター  
 雑誌『brutjournal』の創刊者兼編集長であり、スイス・ローザンヌにあるアル・ブリュット・コレクションの諮問委員会メンバーを務めている。イギリスのアウトサイダー・アート専門雑誌『Raw Vision』の編集に携わり、同誌をはじめ、『New York Times』や『Afterall』、日本経済新聞社の英字雑誌『Nikkei Asia』など多くのメディアでの執筆を続けている。

photo by Ballena Studio

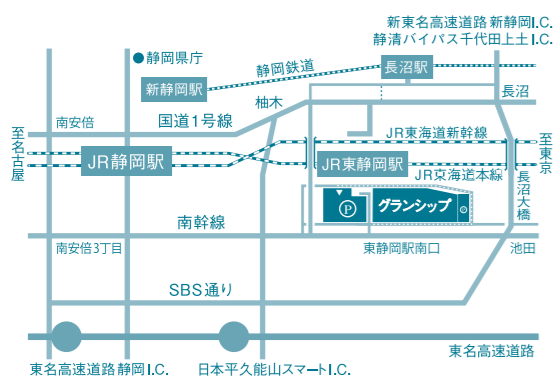
QR

申込: チケット予約サイトPeatixページよりお申し込みください。

メタバース空間上に超老芸術展が出現。  
 世界各地からアクセス可能。  
 年内の公開を予定しています。

# 超老芸術展

ART OF THE AGED



**GRANSHIP** グランシップ  
 Shizuoka Convention & Arts Center

静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)

主催: アーツカウンシルしずおか

共催: 東アジア文化都市2023静岡県実行委員会

問い合わせ アーツカウンシルしずおか

054-204-0059 (平日9:00~17:00)



東アジア文化都市  
 2023 静岡県  
 Culture City of East Asia  
 2023 SHIZUOKA



アーツカウンシルしずおか  
 ARTS COUNCIL SHIZUOKA



東アジア文化都市  
 2023 静岡県  
 Culture City of East Asia  
 2023 SHIZUOKA



# 超老芸術展

ART OF THE AGED

入場料: 無料

グランシップ6階展示ギャラリー(静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)

令和5年 **10月3日(火)～10月8日(日)** **10時～17時**  
 (最終日16時半)

主催: アーツカウンシルしずおか 共催: 東アジア文化都市2023静岡県実行委員会



アーツカウンシルしずおか  
 ARTS COUNCIL SHIZUOKA



お尻パラダイス  
清水 信博  
(1950-)  
島根県



ミクロの海物語  
一ツ柳 外史春  
(1949-)  
長野県



段ボールに舞う天使  
長 恵  
(1942-2020)  
広島県



原体験から生まれた極小表現  
増田 喜良  
(1952-)  
静岡県



満州ポップ画紀行  
林田 嶺一  
(1933-2022)  
北海道



小さな鉛筆の特大ドローイング  
井上 優  
(1943-)  
滋賀県



ベッドの下の宝物  
浅原 きよる  
(1927-2023)  
静岡県



労働の生産点から生まれる絵  
ガタロ  
(1947-)  
広島県

# 超老芸術展

ART OF THE AGED

## 総勢22組の表現者による 1500点以上の作品が集結



自分のために描く日々  
田口 Boss  
(1945-)  
熊本県



記憶を綴る紙芝居  
田中 利夫  
(1941-)  
埼玉県



スクラップアンドビルドの創造主  
堀江 日出男  
(1954-2023)  
大阪府



二人三脚の折り紙細工  
国谷 和成・みよ子  
(1943-・1946-)  
石川県



枯れない盆栽  
玉城 秀一  
(1948-)  
沖縄県



舞い上がれバルーン  
近藤 正勝  
(1945-)  
静岡県



からくり仕掛けの木工細工  
小桶 吉弘  
(1938-)  
静岡県



梱包材から生まれる獣人像  
渡美 圭亮  
(1947-2010)  
静岡県



人生を捧げた創作  
見原 英男  
(1936-2023)  
静岡県



肉体に宿る美の発見者  
河合 良介  
(1927-2015)  
東京都



シャレとユーモアの「笑刻家」  
岩崎 祐司  
(1946-)  
静岡県



危機を描く俯瞰図  
穂田 泰樹  
(1949-)  
静岡県



自己救済としての表現  
本田 照男  
(1946-)  
静岡県



愛しき石よ  
小八重 政弘  
(1954-)  
静岡県

アーティストにすぎずおかしな、高齢になってから、または高齢になってもなお、独自の創作を続ける高齢者による芸術表現を「超老芸術」と名づけ紹介してきました。今回は東アジア文化都市2023静岡県のプログラムの一環として、これまで取材発掘してきた県内の高齢芸術家だけでなく、全国各地で人知れず創作を続ける高齢者の芸術表現を世界に向けて発信します。会場に展示されるのは、いずれも専門的に美術を学んでこなかった人ばかりで、独学でユニークな創作を続けています。本展では全国各地から集めた22組の超老芸術家の1500点を超える作品を展示します。さらに有識者による関連イベントやメタバース上での展覧会(12月公開予定)など、高齢者の芸術表現を体感できる内容になっています。